

## 「C型肝炎は飲み薬で治す時代に」

平成 27 年 8 月放送

熊谷 幹男

C型肝炎は3ヶ月ないし6ヶ月お薬を飲むだけで90%以上の方が治ることをご存知ですか？

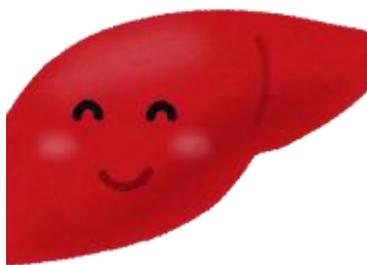
日本人の150万人以上の方が感染し、肝硬変、肝臓がんの大きな原因となっているC型肝炎は、20数年前に初めて血液診断が可能となりました。現在までに数々の注射や飲み薬などで治療されてきましたが、ウイルスをなくす唯一の方法はインターフェロンの注射であり、年々治療法が進歩し、最近では直接抗ウイルス効果をもつ飲み薬と併用することによって、80～90%ウイルスをなくすことに成功するようになりました。これは非常に画期的なことで、全世界からC型肝炎を撲滅させられるという期待が高まりましたが、インターフェロンは注射製剤で治療当初は発熱がほとんどの方にみられ、だるい、食欲が落ち気分が落ち込む、脱毛、貧血などの副作用を心配されてなかなか治療に踏み込まれない方が多かったのも事実です。また躊躇している間に病変が進行し、がんができ、高齢となってインターフェロン治療を受けにくくなった方も沢山いらっしゃるのが現状です。そこで新薬の登場です。C型肝炎のウイルスは大きく分けて1型と2型がありますが、昨年末から1型が、今年6月からは2型が飲み薬だけでウイルスを完全に身体からなくすことができるようになりました。1型は2種類のお薬を1日1～2回24週間（約半年です）また、2型は2種類のお薬を12週間（約3ヶ月です）服用します。ウイルスがなくなれば肝炎は沈静化し、がんになる確率も非常に減ります。そしてインターフェロンの注射のように発熱などの副作用が大変少なく短時間の飲み薬だけでC型肝炎が治せる時代とな

ったのです。今まで C 型肝炎を治療しながら良い結果が得られなかった方は是非かかりつけ医と相談し、肝臓専門医を受診して下さい。

医療費を心配しておられる方もいらっしゃると思います。確かに高価なお薬ですが、公費による補助があり、事故負担額は月に 1 万円だけとなります。(所得の多い方は 2 万円になります。)

また C 型肝炎 B 型肝炎にり患している方の血液検査は無料で受けられますし、り患していることが分かった場合初めて医療機関にかかる際の医療費も無料となりますので、健康管理センターなどで是非相談してみてください。

C 型肝炎は体液や血液を介して感染します。以前は輸血や汚染された注射針を使用することによって感染していましたが、その後は対策が確立し、医療行為で感染することはまずありません。いれずみ、注射器の使いまわし、消毒不



十分のピアスの穴開けなどが感染経路と考えられています。C 型肝炎にり患し慢性肝炎になると、自然に治ることがほとんどなく肝硬変肝臓がんへと進展します。日本人ではまだ 100 万人の方が C 型肝炎にかかっていることを知らないかまたは治療せずに放置しておられると考えられます。是非飲み薬による

治療を受けて下さい。